

**COMMODITY CASE FOR PLACING AND SELLING**

Utility Model Number: JP47042226Y1  
Publication date: 1972-12-20  
Inventor(s): YASUSHI TANAKA  
Applicant(s): ERIKA CORP  
Requested Patent:  
Applicant Number: JP19680047187U 19680607  
Priority Number(s): JP19680047187U 19680607  
IPC Classification: A47F101/73

**Abstract**

**OBJECT:** The present invention has its object for producing a commodity case for placing and selling, which is produced easily, and has inspiring looks and toughness.  
**CONSTITUTION:** A commodity case for placing and selling, which is obtained by high-frequency bonding the top of the open part of the plastic sack body placing the commodity to the edge of a mounting formed by a polymer film layer comprising the same material of the sack body as the sack body reversing.

①Inst. OJ.  
A 47 f

②日本分類  
101 J 73

日本国特許庁

③実用新案出版公告

昭 47-42226

# ④実用新案公報

⑤公告 昭和 47 年(1972) 12 月 20 日

(金 2 頁)

1

## ⑥商品収納販売ケース

①発 願 昭 43-47187

②出 願 昭 43(1968) 6 月 7 日

③考 案 者 田中幸

東京都中野区新井 2 の 3 の 3

④出 願 人 株式会社エリカ

同所

代 理 人 弁理士 平井二郎

## 図面の簡単な説明

図は本考案の実施例を示すもので、第 1 図は本考案ケースを陳列棚板に取付けた場合の正面図、第 2 図はケースの正面図、第 3 図は側面図、第 4 図はケース上辺部分の縦断面図である。

## 考案の詳細な説明

本考案は各種の商品を合成樹脂の筐体に収納し陳列販売されるケースの改良に関するものである。

従来この種のケースは筐体上辺に製造元或いは商品名を記入した紙板が取付けられ、販売方式によつては単に陳列するのみではなく多数のケースを壁に掛無した陳列基盤に縦向きに陳列している。然し筐体上辺に取付けられる台紙は、筐体上辺でフック状に止り止留されているものが多かった。この場合止留作業に手間を要するばかりでなく、外観の体裁が良くなく、又フックの針の折損或いは止留部の筐体のフィルムが破損等で破損が除去されたり、内部商品の完全な包装が出来ず腐敗が侵入する等好ましくない問題が多々見られた。

本考案はこれらの欠点を改善し外観優美で商品価値を一層向上せしめたものである。

以下本考案の実施例を図により説明すると、第 2 図乃至第 4 図に示すように、筐体 1 の開口部上辺を該筐体 1 と同質材料の被膜加工 2 を施した台紙 2 の端縁に高周波接着により接着 3 したものである。

この接着の際第 4 図の断面図に示すように筐体 1 の上辺端縁に台紙 2 の下辺となる端縁を上向きにしてこれと揃えて重合並列させ高周波接着した後下

2

向きとなつている台紙 2 の上辺となる端縁を反転させて上向きさせることにより筐体 1 の側部 3 に折曲部 7 が形成されて、筐体 1 が台紙 2 に翻下された状態となる。

この側部 3 に形成される折曲部 7 は、直接ストレーツに重合接着したものに比較して台紙 2 との接着部分に於いてよりくちが出来外観上優美感を与える効果を有する。

又高周波接着作業の際、台紙 1 の下辺端縁に沿つて筐体 1 の上辺端縁を合せて重合することにより金端端縁が一線に揃ひ接着位置決めがきこる容易で、作業が簡単であると同時に、接着仕上りも不揃ひが生ずることなく出来上るものである。

更に台紙 2 には接着する筐体 1 の材質と同質の樹脂加工を施した被膜 2 が形成されているから勿論完全なる接着効果を有し、又台紙 2 自体も強靱となり、筐体 1 との接着部分或いは台紙 2 の破損の恐れは全くない。従つて第 2 図の如く台紙 2 に穿孔 8 を設け、これを第 1 図に例示するように陳列基盤に挿入し 5 等を経て形成する場合でも、筐体 1 内の商品に重量があつても破損することなく確実に固無状態を維持しているものである。又筐体 1 と台紙 2 との接着部分は筐体 1 内に侵入することなく完全な包装状態を確保している。

以上の通り本考案は、製作容易にして外観優美な強靱なる商品販売ケースを安価に提供するものである。

## 実用新案登録請求の範囲

適宜の商品を収納する合成樹脂製筐体の開口部上辺を、該筐体と同質の樹脂被膜層を施した台紙の端縁に、前記筐体開口部上辺を反転して高周波接着して成る商品収納販売ケース。

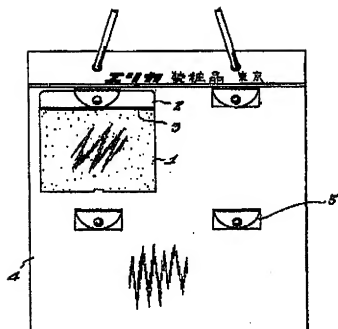
## 引用文献

実 公 昭 38-735

(2)

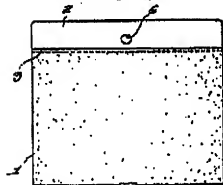
実公 開 47-42226

サ 1 図

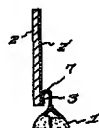


サ 2 図

サ 3 図



サ 4 図



-168-